

四国「持続可能な観光」推進ネットワーク設立会議 開催次第

【推進ネットワーク概要】

団 体 名 称 : 四国「持続可能な観光」推進ネットワーク

事 務 局 : 一般社団法人 四国ツーリズム創造機構 内
香川県高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー タワー棟3F

連 絡 先 : info@shikoku-tourism.com

〔敬 称 略〕

代 表 幹 事 : 半井 真司（一般社団法人 四国ツーリズム創造機構 代表理事）

幹 事 : 桑村 琢（一般社団法人 四国ツーリズム創造機構 事業推進本部 本部長）

事 務 局 長 : 木本 雅人（一般社団法人 四国ツーリズム創造機構 事業推進本部 チームマネジャー）

アドバイザー : 小倉 一仁（国土交通省 四国運輸局 観光部 部長）

会 員 : 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構、一般社団法人四国の右下観光局、
一般社団法人美馬観光ビューロー、一般社団法人そらの郷、三好市、上勝町
高松市、丸亀市、土庄町、小豆島町
一般社団法人キタ・マネジメント、株式会社ソラヤマいしづち、今治市、久万高原町
一般社団法人幡多広域観光協議会、室戸市、津野町

【会議次第】

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 12:45～ | 受付開始 |
| 13:00～13:15 | 開会あいさつ（代表幹事、四国運輸局長） |
| 13:15～14:00 | 会員紹介（自己紹介）、オブザーバー紹介（事務局紹介） |
| 14:00～14:30 | 活動説明・今後のスケジュール |
| 14:30～15:00 | 記者質問受付 |
| （休 憩） | |
| 15:15～16:00 | 小豆島町、一般社団法人キタ・マネジメントの取組み紹介 |
| 16:00～17:00 | 意見交換 |

四国「持続可能な観光」推進ネットワーク の活動について

2022年7月29日
設立会議資料



四国における持続可能な観光に向けた取り組みの現状

現 状

- SDGsの認知度は大きく向上しており、四国各地で取り組みが進展。
⇒四国のSDGs未来都市：徳島市、上勝町、美波町、三豊市、松山市、西条市、新居浜市、土佐町
- 様々な地域課題を解決するため、裾野が広い観光産業を切り口とし、GSTC認定に基づく国際認証や日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用した持続可能な地域経営に取り組む市町村やDMOが増加。

世界の持続可能な観光地TOP100（2021年）	：小豆島町
日本版持続可能な観光ガイドラインモデル地域（2021年）	：大洲市、小豆島町
持続可能な観光地経営モデル形成事業採択地域（2022年）	：（一社）美馬観光ビューロー（美馬市）、丸亀市、土庄町、今治市、（一社）キタマネジメント（大洲市）、室戸市
エコツーリズム大賞「特別賞」	：（一社）幡多広域観光協議会の「SDGs」体験観光

ただし、**国際認証やJSTS-Dの注目度の高まりに対して、主体的な取り組みは限定的。**

課 題

- ①これから取り組みを始める地域では「持続可能な観光」に関する、ノウハウがなく、どのように取り組めば良いか分からないことが多い。
- ②国際認証の重要性は高まっているが、取得に向けてどのように取り組み、活用していけば良いか分からない地域が多い。
- ③各地域の取り組みについて地域単位での情報発信が中心となっており、他地域と連携したプロモーションや情報発信が不十分
- ④各地域が単独で推進するには人的負担、財政的負担が懸念となる。

課題①

- ・専門家による地域のステークホルダー向けセミナー・ワークショップを開催することによる気運の醸成を図る。
- ・四国内外の先進地域の事例を共有する。

課題②

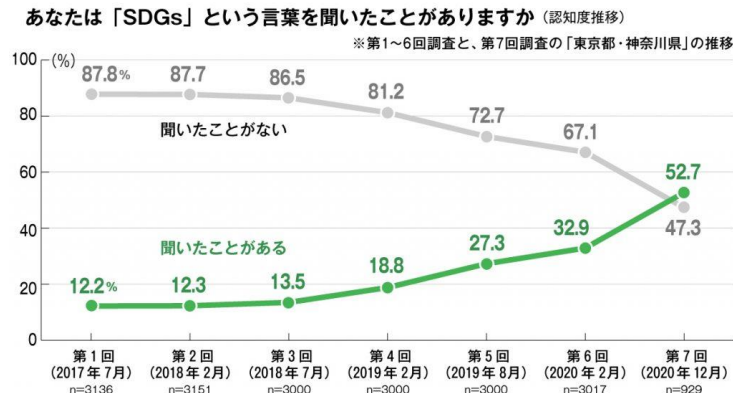
課題③

- ・四国全体で連携したプロモーションを行うことにより発信力を強化する。

課題④

- ・四国全体で取り組むことにより、四国ツーリズム創造機構が相談役として解決策等を検討する。

課題解決のために



● 図12 旅行中にSDGsを意識するために、地域や商品サービスの提供側に希望すること（複数回答）

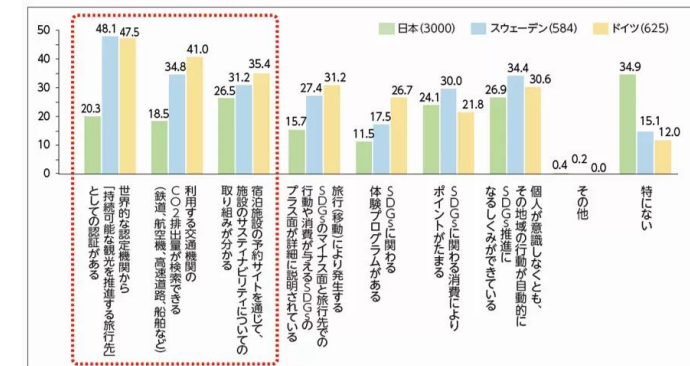


図8～12の作成：JTB総合研究所「SDGsに対する生活者の意識と旅行についての調査（2022）その1～3」

四国ツーリズム創造機構を核として
「持続可能な観光」を協働で推進

四国における持続可能な観光の推進ネットワークについて

組織概要

名 称：四国「持続可能な観光」推進ネットワーク
対 象：持続可能な観光に取り組む四国内自治体、DMO等
事務局：（一社）四国ツーリズム創造機構内

目指す姿（設立趣旨）

四国全域が持続可能な観光地である「サステナブルアイランド四国」を目指すため、以下の点を意識して取組みを推進する。

- 国際認証や日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用し、四国を「持続可能な観光先進地域」としてブランド化を図る。
- 四国全体の取組みとして連携して情報発信を行い、効果的なプロモーションを実施する。

⇒**令和7年度（大阪関西万博開催）に向けて「サステナブルアイランド四国」のブランド確立を目指す。**

活動概要

他地域に先駆け、四国における持続可能な観光の推進と国際認証等を活用したブランド化に資する取組みを協働で実践する。

- 情報の発信・共有：会員の取組み内容を集約し、効果的に発信できる仕組みを構築
- 連携・協働した取組み：連携プロモーション等の実施
- 普及・啓発活動：地域のステークホルダーや事業者向けセミナーの開催等
- 意見交換の場づくり：会員間・先進地域との意見交換会の開催



普及・啓発活動イメージ
（フィールドワーク）



専門家を交えた
意見交換のイメージ

【会員条件】

- （１） 四国内の自治体または四国内に事務所を有するDMOであること
- （２） 自治体及びDMOが策定する観光計画等に持続可能な観光への取組みについて明記がされているか、今後明記する予定であること。

※（１）（２）の条件を満たさない場合であっても、代表幹事が特別に許可した場合は入会可能とする。

【活動内容】

持続可能な観光に関する会員の取組み内容を集約し、効果的に発信できる仕組みを構築する。

- 四国ツーリズム創造機構のHPにおいて専用ページを作成し、会員の取組み事例、体験プログラム等を紹介
- 先進地域の取組み内容や観光庁の支援事業等の共有（事務局から適宜メールによる情報共有を行う）

専用ページイメージ（案）



四国における取組状況

事例・体験プログラムを探す

エリアを選択

SDG s の目標を選択

カテゴリーを選択

キーワード入力

事例・体験プログラムを探す

エリアを選択

SDG s の目標を選択

カテゴリーを選択

キーワード入力



エリアやSDG s の目標を選択することで会員の取組み事例や体験プログラムを旅行会社等がを見つけやすいページとする。
※特設ページ内容については、会員の意見等を踏まえながら適宜修正を行います。

活動内容詳細② 連携・協働した取組み

【活動内容】

会員の取組みを実際の誘客促進に繋げていくための、会員間で連携したプロモーションを検討・実施する。

- SDG s 関連プログラムの需要が高い旅行会社（教育旅行・訪日）等への情報発信
- 四国周遊に向けた県を跨いだモデルコース、プログラムの作成

※ 具体的な内容については現在検討中です。

※想定情報発信内容



旅行会社へのセールス活動



FAMトリップの実施



四国観光商談会、ツーリズムEXPO等での情報発信

➡具体的な実施内容については、2022年度に検討し、2023年度以降に展開予定

【活動内容】

地域における持続可能な観光に向けた取り組みの気運の醸成・理解促進のための普及・啓発活動、自治体やDMOの活動を支援する。

- 国際認証や日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用した持続可能な観光に向けた取り組みに関するセミナー・ワークショップの開催

※2022年度は前年度に新型コロナウイルスの影響で開催ができなかった香川県及び愛媛県で実施する。

〈開催方針〉

- （１）会員地域において優先的に開催する（実施内容は会員の要望を踏まえて調整する）。
- （２）年度内に4回程度の実施とし、原則四国各県１回ずつの開催とする。

- GreenDestinations等の国際認証取得に向けた情報共有、会員の取組支援

※想定普及・啓発活動内容



地域のステークホルダー等を交えたセミナー・ワークショップ

※想定活動支援内容

国際認証取得に向けたワークショップの開催

先進地域の取組紹介・関連最新情報の共有

国際認証取得に向けた申請書類等の英訳、
ネイティブチェックの費用支援(初回申請時のみ)

【活動内容】

推進ネットワーク会員間や先進地域との意見交換会を開催する。

- 会員の取組み状況の確認や今後の活動内容について意見交換を定期的に行う。
※意見交換会は6月と11月頃に開催を予定しております。
- 持続可能な観光分野における四国外の先進地域との意見交換の場を設定する。
2022年度は小豆島町と連携し、下半期中を目途に岩手県釜石市への視察を調整しているところ。

〈持続可能な観光先進地「釜石市」について〉

- 2017年に観光ビジョン「釜石オープン・フィールド・ミュージアム構想」を策定し、そのなかで、施策の柱のひとつとして「サステナブルツーリズム」を設定。
➡具体的な目標として、日本で最初に世界持続可能観光協議会（GSTC）の観光地認証を取得することを明記。
- 上記構想を実現するため、観光地域づくり法人（DMO）として釜石DMCを2018年に設立。
- 2018年に日本で初めてサステナブルツーリズムの国際的な認証団体グリーン・デスティネーションズが実施する表彰制度「世界の持続可能な観光地TOP100」に選出されてから、4年連続で選出かつ日本で唯一のブロンズアワード及びシルバーアワードを受賞。
- 漁業や林業、防災が一体となった観光に取り組んでおり、2021年7月に設立した日本「持続可能な観光」地域協議会では発起人として代表自治体を務める等、日本のサステナブルツーリズムを牽引する存在として注目されている。

四国「持続可能な観光」推進ネットワーク










アドバイザー
(四国運輸局観光部長、
四国内外の専門家)

推進ネットワーク会員（市町村及びDMO：17地域）

徳島県（6）	（一社）イーストとくしま推進機構	（一社）四国の右下観光局	（一社）その郷
	（一社）美馬観光ビューロー	三好市	上勝町
香川県（4）	高松市	丸亀市	土庄町 小豆島町
愛媛県（4）	（一社）キタ・マネジメント	（株）ソラヤマいしづち	今治市 久万高原町
高知県（3）	（一社）幡多広域観光協議会	室戸市	津野町

運営事務局
(（一社）四国ツーリズム創造機構)

活動・関連事業 スケジュール（案） ※今後変更となる可能性がございます。

	2022年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月
活動内容	設立会議 (7/29) ●				第二回会議 (11月上旬予定) ●				
					先進事例視察・意見交換会（釜石市） 				
						セミナー・ワークショップの開催（香川・愛媛） 			
				連携POモーションの検討 					
		HP掲載ガイドラインの作成 			HP内に専用ページ開設 				
（参考） 令和4年度 持続可能な観光 推進モデル事業 （GSTCトレーニング）	今治市 (7/20～22) 	丸亀市 (7/26～28) 	土庄町 (8/15～17) 	美馬市 (9/26～28) 	室戸市 (10/12～14) 